

■(清川)清河八郎 志士。幕末きっての策士で、幕府を騙すまでして倒幕をめざすも失敗、暗殺された。

きよかわはちろう

富籤流行・・・1830＝ 庄内藩領出羽国東田川郡清川村の名主で郷士の斎藤治兵衛の三男に生まれる。

天保大飢饉始1833＝ 3歳：前年から始まった天保の大飢饉で、斎藤家に義賊が侵入し預かり米が奪われ、15名処刑となる。

・・・・・・1836＝ 6歳：父から「論語」の素読を受ける。

大塩平八郎乱1837＝ 7歳：

蚕社の獄・・・1839＝ 9歳：鶴岡の伯父に預けられ、清水塾に通う。

天保改革弾圧1842＝12歳：清水塾を退学となり、清川に戻る。

順天堂始・・・1843＝13歳：清川関所役人について漢学を学ぶ。

天保改革終・・・1844＝14歳：学問で身を立てようと決意。

阿部正弘首座1845＝15歳：

孝明天皇・・・1846＝16歳：東奥来遊中に滞在した藤本鉄石から影響を受け、剣を習った後、

・・・・・・1847＝17歳：家を出て江戸に出て、神田お玉ヶ池の(東条一堂塾)に入門し、安積五郎と相知る。

・・・・・・1848＝18歳：伯父と、京都・中国・大和・紀伊に遊び、弟が病死したため帰郷。

北斎没・・・1849＝19歳：家業を助けた後、

国定忠治疎・・・1850＝20歳：3年間の遊学許可を得て、京都・島原・長崎を廻った後、(東条一堂塾)に再入門、

尊徳報徳論・・・1851＝21歳：北辰一刀流の千葉周作道場入門、(東条一堂塾)塾頭の話を通り、

万次郎帰国・・・1852＝22歳：安積良斎の塾に移り、間崎哲馬ら各地からの遊学生と知合い、辰一刀流初目録、浦賀で黒船を視察後、

ペリー来航・・・1853＝23歳：帰藩し、蝦夷松前地方を海防視察。この年、斎藤家が庄屋格となる。

開国開港・・・1854＝24歳：*安積良斎の推薦で昌平校に入学するも失望し、三河町に文武塾を開くとともに、清川八郎と改名。

安政大地震・・・1855＝25歳：母とともに伊勢参りして、中国・九州に遊び、湯田川温泉でお蓮と出会う。

松下村塾・・・1856＝26歳：帰郷して著述に専念した後、仙台でお蓮と新婚生活。

蕃書調所・・・1857＝27歳：居を駿河台に定め、2度目の開塾。千葉道場で山岡鉄太郎と出会い、高橋泥舟に紹介される。

五ヶ国条約・・・1858＝28歳：北辰一刀流中目録免許。

安政の大獄・・・1859＝29歳：帰郷の途中、各地で剣術試合した後、江戸に戻って神田お玉ヶ池に3度目の塾を開くと、

桜田門外変・・・1860＝30歳：桜田門外の変後、各地の志士が集まって(虎尾の会)を結成、メンバーが米公使館通弁ヒュースケンを暗殺

したため、幕府から監視され、

遣欧使節・・・1861＝31歳：妻・同志らが入牢するなか、幕府の手先を斬って逃亡、各地に潜行し、京に出て九州の志士と交わり、

生麦事件・・・1862＝32歳：*島津久光の上洛を利用した挙兵を画策するが、寺田屋事件で失敗して江戸に帰る。罪を許され、幕府に(浪

士組)の結成を進言して採択されるも、

8月18日政変 1863＝33歳：*尊攘派と結んだため、(新撰組)と分離の上、江戸に戻されて(新徴組)に編入され、麻布一ノ橋で幕吏佐々

木只三郎らに暗殺された。